



CHRONOFIGHTER

CALIBRE G1747

MOVEMENT – TECHNICAL DATA

Cal. G1747

自動巻

クロノグラフ

毎時 28'800 振動

インカブロック耐震装置搭載

石数 : 25

パワーリザーブ : 48 時間

WATCH FUNCTIONS

時、分、秒表示

クロノグラフ (30分計)

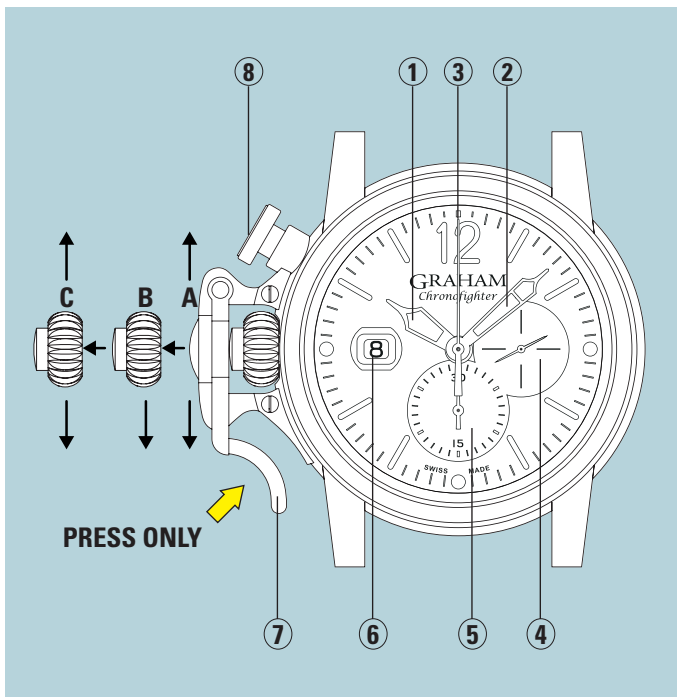
日時表示 (モデル毎に異なる)

防水性: 100 m (10 気圧相当)

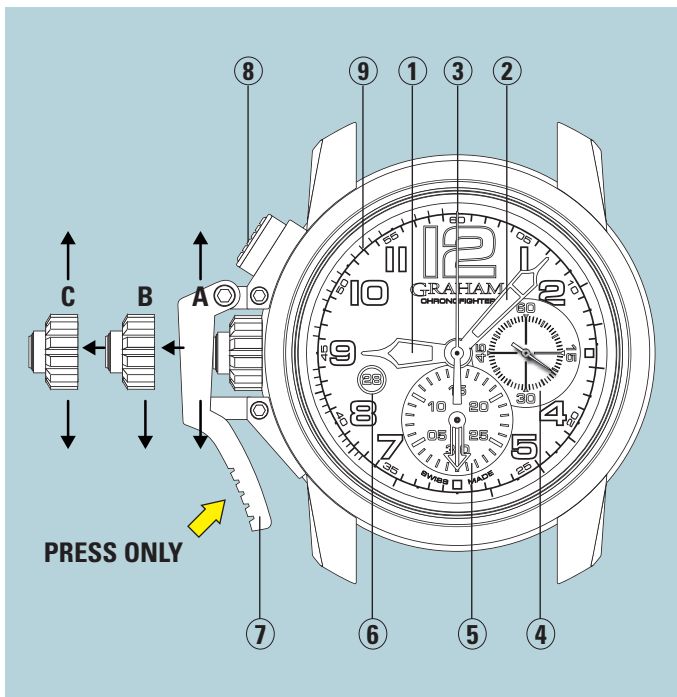
タキメーター 尺度 (モデル毎に異なる)

テレメーター 尺度 (モデル毎に異なる)

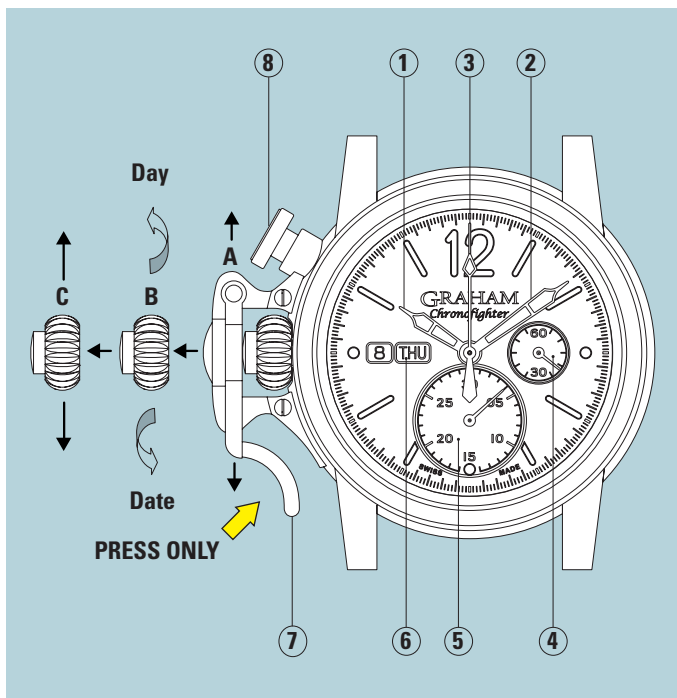
曜日表示



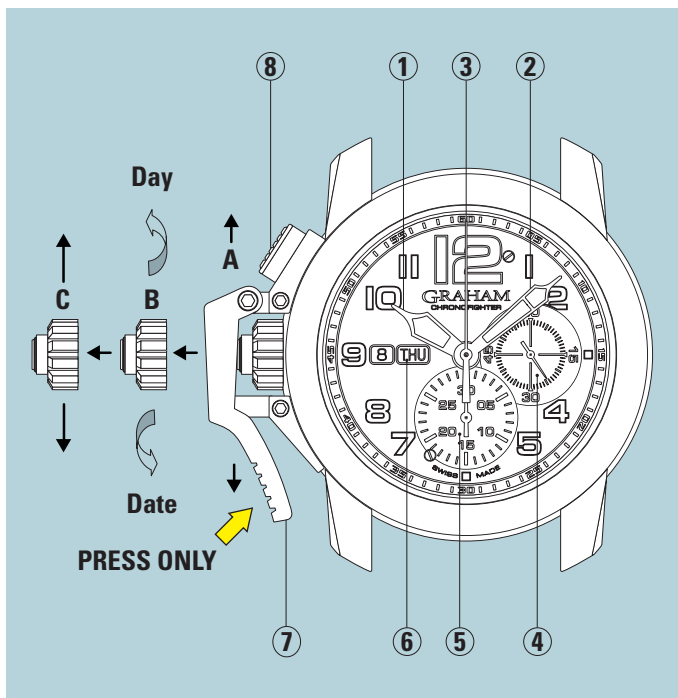
曜日表示



日付表示



日付表示



INFORMATION SHOWN ON THE ILLUSTRATION

1. 時針
2. 分針
3. クロノグラフ秒針
4. 秒針
5. クロノグラフ30分針
6. 日付もしくは曜日表示 (モデル毎に異なる)
7. クロノグラフレバー(スタート/ストップ)
8. リセットコントローラー
9. タキメーター尺度 / テレメーター尺度(モデル毎に異なる)

BASIC OPERATING INSTRUCTIONS

Positions of the crown :

- A. 手巻 : ご使用の際は、ポジションAの位置に合わせます。
- B. 日付・曜日の調整
- C. 時刻合わせ : Cの位置にセットされている場合、秒針は止まった状態になります。

Winding the watch (position A) :

コイルばねを完全に巻くために、リューズをポジションAに合わせ、前後に20回程巻きます。
この作業により、時計をご使用の間は、自動的にコイルばねが巻かれるようになります。

Setting the date (position B) :

リューズをポジションBに合わせます。
表示を確認しながらリューズを回して日付と曜日を合わせます。

Warning : 時針が午後8時～午前2時頃を指している間は、日付の設定を行わないでください。故障の原因になりますのでご注意ください。

Setting the time (position C) :

リューズをポジションCに合わせます。

時計まわり、もしくは半時計回りに回し時刻をセットします。時刻を、時報や親時計と合わせる際は、秒針が12時の位置に到達するまで待ち、到達したら、ポジションCにリューズを引き出し、秒針を止めます。

分針が合わせたい時刻になるよう、リューズを回して設定します。

時刻合わせの操作を終えたら、リューズをもとのポジションに戻します。設定した時刻から、再び時計が動き始めます。

Note: 時刻合わせの操作が完了したら、リューズを元のポジションAに戻したことを確認してください。

CHRONOGRAPH OPERATING INSTRUCTIONS

Start

クロノグラフレバー(7)を押して、クロノグラフ秒針(3)とクロノグラフ30分針をスタートさせます。

Stop

クロノグラフレバー(7)を再度押して、クロノグラフを止めます。

Reset

クロノグラフレバー(7)を止めた後、リセットコントローラー(8)を押すことで針をリセットすることが可能です。

Continued timing

クロノグラフを止めたのが1度目の場合、再度クロノグラフレバー(7)を押すことでクロノグラフを再開させることが可能です。それぞれ図った時間は合算され、積算計として利用できます。

クロノグラフを使用している間も、時計は通常通り動作し続けます。

Tachymeter scale (depending on model)

タキメーター機能とは、自動車などのおおよその走行時速を測る機能です。タキメーター機能を使用して、1kmを何秒（測定可能範囲60秒以内）で走行したかによって、その区間のおおよその平均時速を求めることができます。

平均時速を求めるためには、クロノグラフレバー(7)をスタートと同時に押します。1km到達時点で、自動車などが通過したと同時に、クロノグラフレバー(7)を再度押して、ストップします。この時のクロノグラフ秒針(3)の位置で、平均速度を求められます。

仮に1kmを25秒で走行した場合、平均時速は140km/時となります。

Telemeter scale (depending on model)

テレメーター機能とは、測定したい事象の速度（光速等）と音速の速度差を利用し、2つの離れた地点間の距離を計測する機能です。

測定したい事象の開始が目でみて確認できた時点でクロノグラフレバー(7)を押し、スタートさせ、その事象が音として聞こえた時に再度レバーを押下し、測定をストップさせます。

この時のクロノグラフ秒針 (3) の位置で、測定者と測定したい事象までの距離を求めることができます。

気温が音速に影響する可能性があるため、設定を地球の平均気温である25° C (77 F)と仮定して、時計本体を設計しています。

キロ単位での距離は、リム寸法より求められます。(346 m/s).